

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

座談会「県内公民館の現状と課題を考える」

4.5

- 2 **トピックス** 「全国優良公民館表彰 長岡市中央公民館が受賞」
- 3 **視点** 「温故知新のススメ -50年前の長岡の事績をふりかえる-」 長岡大学・松本 和明
- 3 **ひろば** 「生きる力をはぐくむプラン」 津南町・草津 進
- 6 **実践記録シリーズ** 「ラ・ラ・ネット」 新潟県立生涯学習推進センター・佐藤 敏男
- 7 **サークル交流** 「楽しく弾こう」(胎内市) / 「伝統文化を通じて」(村上市)
- 7 **素顔拝見** 太田いずみさん(十日町市) / 箕輪 香織さん(上越市)
- 8 **お元気ですか** 弥彦村・高橋 瀬織さん
- 8 **恵贈資料紹介**



「おやこ木工教室」(五泉市)

表紙解説

秋空の自然の中、たくさんのおやこが伐採現場の見学、木製品製作、丸太切りなどを体験しました。



平成24年度・第65回 全国優良公民館表彰 長岡市中央公民館が受賞

はじめに、このたびの優良公民館表彰受賞にあたり、当館の利用者をはじめ関係者の皆様から多大なるご支援とご協力を頂戴しましたことに深く感謝いたします。

去る11月13日、平成24年度優良公民館表彰式が文部科学省講堂で行われました。式典では、全国57公民館の受賞者と共に村井政務官からお祝いの言葉をいただき、あらためて公民館活動や社会教育活動の重要性、そして地域コミュニティの核である公民館の大切さを認識しました。

受賞の対象となった「長岡市生涯学習推進計画」は、長岡市生涯学習推進計画の目標である「いつでも、どこでも、だれでも学べるまち」の実現にむけて平成16年度から2カ年を学習期間として開設し、幅広い世代の生涯学習を推進する人材を育成すべく指導者養成や地域活動ボランティア養成などに取り組んでいるものです。

受講生は、市内の地区コミュニティセンターや地区公



生涯学習推進大学 受講風景

民館から推薦され、生涯学習や地域づくりに関する講座、リーダー育成に関する学習、館外学習など2年間で30講座を受けます。修了後は生涯学習推進員として各地区から委嘱され、学んだ成果を地域で活かしておられます。

これまでの第1期から第4期までの修了生207人は、現在、それぞれの地域で生涯学習の推進にご尽力されています。今年度から始まった第5期も、58名の受講者が地域のリーダーとなるよう、学習に取り組んでいます。

長岡市中央公民館は昭和24年7月、長岡市公会堂（現在

のオーレ長岡付近）内に長岡公民館として設置されました。その後、昭和の大合併により各地域の公民館と並列となりましたが、昭和37年5月には長岡市中央公民館へ改称し、現在では市町村合併により10地区館と85分館をもつ長岡市の中央館となっています。今後、社会教育、生涯学習の交流拠点の一つとして、皆様と共に歩んでいける公民館であり続けますよう一層のご協力とご支援をお願いいたします。お礼の挨拶とさせていただきます。

（長岡市中央公民館長 武樋 正隆）
表彰状と盾を持った職員の写真



関プロ第2回理事会開催
第2回関プロ理事会が11月16日（金）に東京・八重洲ホールで開催され、湯浅会長と田原事務局長が出席しました。主な議事は

- 1 関プロ長野大会の報告
- 2 関プロ新潟大会の開催計画の審議

でした。新潟大会の開催については県評議員会で決定した開催要項が審議され承認されました。分科会の持ち方については、修正案が新潟県から出されました。その内容は、後日、県内各公民館にお知らせします。

分科会は新潟県が4つの分科会を担当します。担当とテーマは次のとおりです。

- 上越地区（上越市）
テーマ「地域文化の伝承と公民館」
- 下越地区（新発田市）
テーマ「人権学習と公民館」
- 新潟市
テーマ①「学校と公民館」
②「地域振興と公民館」

議事の
後、全国
公連・村
上英己次
長が「震
災と公民
館」につ
いて講話
を行いました。



「新潟県公民館月報」 毎月15日発行 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部150円 年間1,800円(いずれも送料含)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301 中野プラザ107 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-266-7711

視点

温故知新のススメ —50年前の長岡の事績をふりかえる—

長岡大学経済経営学部人間経営学科
教授・学生委員長 松本 和明



筆者は、長岡地域をはじめとする新潟県内各地域の産業・企業史を主たるテーマとしている。歴史を主たるテーマとしている。先般、長岡市が刊行している広報誌である『ながおか市政だより』のバックナンバーを調べていたところ、ちょうど50年前の1962(昭和37)年に注目すべき記述を見出した。

同年5月に、長岡公民館が中央公民館として新発足し、市内20の公民館が分館となった。中央公民館は「これまで各地域で別々にやってきた活動を一本にまとめ、総合性ある充実した活動を推進し、各地域分館は「おたがいに結びあって市民みなさんを対象とした講習会や研究会の開催、青年婦人団体など組織の育成など幅広い活動をおし進めて、両者で、市づくり、推進の大きな役割を果たす」(『長岡市政だより』第93号)ことを目指したものであった。同月から8月にかけて、中央公民館では新潟大学の教授陣による「木曜講座」が開講された。同講座は「市民に知識の扉を開いてから八

年、全国でもまれなケースとして継続」されていた。

『長岡市政だより』第99号(11月発行)には、下川西公民館の指導による青年学級が取り上げられている。当時は同地区の青年たちの多くが農閑期には出稼ぎを余儀なくされていたが、出稼ぎ先と同地区との生活様式や余暇の利用などを比較学習するというユニークな試みがなされていた。また、山本・柄吉・王寺川公民館での青年学級では一般教養とともに「農業経営の行きづまり」などをテーマに学習を進めていた。同誌は「毎日の労働にめげずに学ぶ若い人たちの意欲から、各地域で教育の芽がすくすくと育っています」とその成果を指摘している。

これらから、中央館と各地域館(コミセン)とのより緊密な連携と情報共有、大学の積極的な活用、地域の発展を担う青年層の学習意欲の高揚などの重要性および必要性を読み取ることができ、まさに「古きをたずねて、新しきを知る。今改めて噛み締めるべきであろう。

H O T N E W S 掲 示 板

関プロ新潟大会の 参加費の修正

本年開催された「長野」大会の参加費が県外参加者と県内参加者の金額が同じではないことが先日開催の関プロ理事会で明らかになりました。このことについて協議するため臨時正副会長会を11月27日に新潟市で開催し、次のとおり大会参加費を修正することになりました。

県外参加者	3,500円 (変更なし)
県内参加者	2,000円
大会運営委員	0円
実行委員	0円

*市町村の割当役員は運営委員になるため参加費は0円です。

なお、近日中に、各市町村中央公民館に市町村割当役員表、参加者動員について文書を送付します。参加者動員については、県大会・糸魚川方式(人口1万人に2人以上、1万人以下は1人以上 それぞれ状況に応じて)と同じにしたいと思います。ご協力をお願いいたします。(事務局)

日本一の豪雪地、我が津南町は平成の合併はしない自立の町を選択しました。少子高齢化が進むなか、強くどこよりもやさしい町づくりが進められています。自立の町で自立した子どもを育てる基本理念

家庭 家庭のもつ教育力を発揮しよう。子どもが生きるエネルギーを養う。早寝早起き朝ごはん・心からの安らぎを得る。「ならぬ事はならぬ」という規範意識を高める。

学校 すべての子どもに夢と活力をはぐくもう。学校課題を焦点化し、課題解決のために協働性を発揮した教育活動を行なう。地域とともに歩む特色ある学校づくりを進める。

地域 「自立の町」の心意気を示し、みんなで子どもを



育てよう。明るいあいさつを通して活力を養う。自然人、文化、産業など子どもが五感を使って学ぶ素材を提供するプランが立てられています。確かな学力をつける知、豊かな心をはぐくむ徳、たくましく生きる活力と体力をつける体、学校の教育だけでなく生涯学習を通じ、「生きる力」をはぐくむ津南町の取り組みに社会教育委員の一人として、真剣に取組み、次の世代に夢と希望が持てる活動を続けてまいります。

「生きる力をはぐくむプラン」



津南町社会教育委員長 草津 進



の現状と課題を考える」

集落に出張して行う出前講座の実施も思うように進まず苦慮している。

各地区公民館長は従来からの人気事業、地域の宝探しなど、は堅持しながら地域性を生かした事業展開と評価を重視している。地域課題解決の事業は単独では難しいので他部署と連携して行っている。

(田原) 市町村合併への緊急アピールは、合併後の公民館に対する危機感からですか。

(鈴木) そのままで行ったら、一番立場の弱い公民館に合併のしわ寄せが来る、という危機感があつた。当時の県公連会長の今井昭友さんもそう考えていた。

(星野) 最近になってようやく市当局の風向きが変わってきている。かつては予算削減をせまる理由として、いつも同じ参加者ではないか、趣味・教養ではないか、限定的で地域全体への広がりがないではないか、参加者減ではないかと言われてきた。しかし、老人クラブや公民館の活動が盛んになると介護を受ける率が減少し、平均寿命が延びる等の数値が明らかになったことや公民館の活動が予防医学からの観点も評価されたことなどがあげられる。

(鈴木) 財政当局は、公民館が特定の人のサービスをしているのではないかという先入観が強い。ある市では、小学校の河川の問題を公民館の講座として取り組みを発表したら、要望せずとも予算化されたりごみ分別で大学と連携した実践では同様に予算化された。事業が市民全体に還元でき、そしてそのメンバーが地域に出て活動をPRすることで予算に反映されるのではないか。受け身の事業では評価を得られないし、新しい事業も展開できないと思う。

(佐藤) 職員を外へ出す(研修も含めて)ことは大切だ。加茂市では中央館だけのがんばりではなく分館ががんばっている。公連審委員からがんばってもらうことが重要である。職員と同じ活動が出来る委員さんを増やすことが大切だと思う。事業評価を他の施設と差別化をすることも大切だ。今は、事業の成果と評価を示すことが必要になっている。

(田原) 評価まで話を広げていただきましたが、時間も限られていますので評価を含めて職員資質や今後の公民館の方向性について一言ずつお願いします。

(星野) 評価の点では、十日町市に学ぶ点があると思っている。魚沼市では数値だけではなく感想や意

見も含めて記述してもらっている。記録として成果をアピールすることは大切である。子育ては地域でといわれるが、家庭が地域から離れている現状では難しい。そこをつなぐこと、地域と家庭をつなぐことが公教育としての公民館の大切な部分である。

(佐藤) 長く続いている講座では受講生の中から企画委員を選び企画を提案してもらっている。職員はそれをつなぐ役割をする。講座修了後に受講生、企画委員、職員でお互いに評価して次につなげていくことにしないと公民館活動の広がりが出ない。

(鈴木) カードによるアンケート方式も、受講生による評価方法として有効ではないか。都市部では自主グループ化を避けたい人もいる。自主化にしてまで他人の面倒を見たくない、自分の受益のみを享受して事業を渡り歩くという例も出ている。

(佐藤) 現状として公民館職員は忙しい。が、中でも心に余裕を持ち研修を続けて欲しい。また、地域とのつながりを大切にして人材発掘を心がけることは大切である。

(田原) 職員は地域の人とのつながりが非常に重要ですが、最近の職員はつながりの基本であるこの交流が苦手な人が多くなっています。この点についてはいかがですか。

(鈴木) 優秀な職員は首長部局が離さない。公民館に不適な職員を配置されることがあり館長さんも大変である。

(星野) マイナス効果ですね。他の職員にも影響が出る。魚沼市では非常勤職員が異動をしないことから事業の実施に大きな力になっている。

(佐藤) 加茂市は職員の在籍期間が長い。一定の長さが公民館職員には必要である。

(鈴木) これからの公民館の運営システムとしては、教育長と市町村長との対話が大切だ。職員が一体となって成果を上げている市町村を見習うべきだ。また、一般の人々にもっと広報が必要だ。マスコミをもっと有効活用して積極的に広報活動すべきである。

(田原) ありがとうございます。まだまだご意見をいただきたいところですが時間がきてしまいました。

(次号では第2回座談会を特集します)

特集

座談会「県内公民館」

県公民館連合会主催「第1回座談会」を10月30日(火)に新潟市中央公民館で開催しました。

テーマは「県内公民館の現状と課題を考える」で、2時間にわたり白熱した意見交換をしました。

座談会メンバー 鈴木友夫 (前県公運事務局長)
星野修美 (魚沼市中央公民館長)
佐藤俊夫 (前加茂市公民館長)

司会 田原 理 (県公運事務局長)
記録 佐藤武晴 (新潟市新津地区公民館主査)

.....
(田原) 本日はお忙しいところ座談会にお出でいただきありがとうございます。3人のメンバーはいずれも公民館・社会教育のベテランで実績豊富な方々でございます。どうぞ、忌憚のないご意見をお願いいたします。

最初に、佐賀市の公民館管理が今年度から「委託方式」を「直接管理方式」に戻しました。指定管理者方式では公民館の大切な機能である地域課題の解決機能がないことが問題視された結果です。また、東日本大震災地震でも危機管理に対応する施設とし機能したことからの点でも注目されています。

本日はこれらの新しい動きを視野に入れて、①公民館の現状 ②事業評価のあり方 ③公民館職員の課題と今後の方向 の3点について意見交換をして参りたいと思います。最初のテーマは

「公民館の現状について」です。

(鈴木) 規制緩和によって公運審の任意化とともに非常勤職員の配置が可能になったことと、市町村合併により公民館全体が大きく変容した。合併では、公民館職員を増員するとのことだったが現状は減員になっている。首長部局の発言力が大きくなることで公民館側の発言力が小さくなってしまい、財政的にも、人事的にも押し切られる形になってきている。このような現状が早く顕在化した市町村が、悪しき前例となって現在に至っているのではないだろうか。



9年前の第53回県公民館大会では、「市町村合併と公民館に関する緊急アピール」を採択した。三つの柱として①施設「施設の確保充実」②組織「専従職員の必置」③経費「予算確保」をあげた。しかし、合併後は大変大雑把な組織形態になり、例えば①地区館は設置せずに、住民窓口と公民館の複合館にする。②集落ごとに公民

館を設置したところは地区館と称するが予算や人員配置をしない、という状態が起きてきた。また、公民館・首長部局が一体化して市民センターにする動きもある。また、コミュニティセンター化して、従来の公民館の看板を外す所も出てきている。

これらの問題点は、館長も含めた公民館職員と公運審委員等が一体して行動しないと動きを止められないだろう。

(佐藤) 加茂市は本館が市の中に一つあるが、あとは分館として活動している。分館は非常勤館長と主事があり、分館の推進委員を中心に様々な活動を実施して分館活動の持つ役割は大変大きなものがある。課題としては、事業のマナー化や住民を取り巻く環境、人口減などの変化により地域の行事等に参加することが難しくなってきた。



私は元々土木職の市役所職員であったが、退職までの12年間を公民館職員として勤務した。現職の時は、職員だけでは公民館の運営等に限界があるので公運審委員に企画や運営まで協力してもらっていた。これが、公運審の活性化に役に立った。公民館の活動を市民に知ってもらうのは広報であるが、公運審や分館の推進委員が地域で情報を発信することが大事。これらにより地域づくりの先頭となる人材を発掘していかないと公民館は忘れられてしまうと思う。

.....

(星野) 私は、川崎市で14年間公民館に在籍した。中心公民館の設置とともにそれぞれ公運審の開設にかかわった。その後、住民の要望で分館も設置した。当時の公運審の委員は発言力が強く、提言も相当数有り職員も刺激されて活発であった。



12年前に魚沼市に戻り、公運審委員となったが、その直前に市町村合併があった。中央公民館の設置、生涯学習推進計画の策定や地区公民館の重要性等を答申としてまとめた。条例設置公民館は7館。公運審は中央館に1つとし、各地区館には「サポート協議会」をつくった。今は、月1回の館長会を開催して主に公民館活動の理念の構築を図りながら事業等の情報交換、意見交換等を行っている。

地域の最大課題は「嫁不足」と「限界集落」。人が少なくなった山村の集落生活に寄り添い、

実践記録 シリーズ 177

新潟県生涯学習情報提供システム『ラ・ラ・ネット』

<http://www.lalanet.gr.jp>

新潟県立生涯学習推進センター 佐藤 敏男

ラ・ラ・ネットとは

「ラ・ラ・ネット」は、新潟県立生涯学習推進センターがインターネット上で運営する生涯学習情報提供システムです。

ラ・ラ・ネットは1996年に、パソコン通信を使ってスタートしました。「学習機会」「団体・グループ」「施設」「指導者」の4つの情報のデータベースをもち、パソコン通信が可能な環境があれば、いつでもどこからでも情報を取り出せるという当時としては先進的なシステムでした。

その後、2000年と2005年にリニューアルを行い、2011年10月には、利用者が参加し積極的に情報発信できるコンテンツとしてブログなどのSNS機能を搭載した、新しいラ・ラ・ネットがスタートしました。

ラ・ラ・ネットの機能

ラ・ラ・ネットのキーワードは「つながる まなぶ しらべる」です。

【つながる】

ラ・ラ・ネットでは、県内で活動する生涯学習関係の団体、公民館などで活動するサークルの皆さんがラ・ラ・ネット上に「マイページ」というページをもてます。

「マイページ」では、以下のような内容のページを、ホームページ作成の知識がなくても簡単に作成することができます。

- ①団体やサークルの紹介
- ②主催するイベントの登録と告知
- ③活動の様子をお知らせするブログ
- ④その他、各種お知らせ

自分たちの活動を広くPRしたい方や、サークルのホームページを作りたい方の御利用をお待ちしています。

【まなぶ】

トップページに新着情報やイベントカレンダーのコーナーを設置しました。これらのコーナーには、マイページに載っているイベントや、「いきいき県

民カレッジ」などの学習機会の最新情報が表示されます。トップページにアクセスするだけで、いつも新しい「まなびの機会」を見つけることができます。

【しらべる】

ラ・ラ・ネットの中心機能である各種情報検索も、より使いやすくなりました。

従来のような地域やキーワードによる検索での情報提供に加え、関連するおすすめ情報も併せて表示することができます。たくさんの情報をながめながら、自分の知りたい「まなび」を探すことができるようになりました。

ラ・ラ・ネットの現状 (2012年11月1日現在)

登録データ数

学習機会	1,177件(今年度新規登録の件数)
団体・グループ	413団体
施設	1,760施設
指導者	1,171人(公開835人 非公開336人)

マイページ利用団体数 62団体

ラ・ラ・ネットへの
アクセス数
6,077アクセス/月
(2012.4～2012.10までの
平均)

これからの

ラ・ラ・ネット

現在当センターでは、センター主催の研修会参加者や、県内の生涯学習関係者を対象にしたコミュニケーションの場をネット上に作りたいと考え、「ラ・ラ・ネットコミュニティ」という名称で会議室を設置しています。会議室では、毎日活発な情報交換が行われています。

これからのラ・ラ・ネットは、生涯学習情報の提供に加え、「マイページ」や「ラ・ラ・ネットコミュニティ」といったコミュニケーションの場としての機能をさらに充実させ、県民の皆様の生涯学習をサポートしていきたいと考えています。



楽しく弾く

ピアノ教室コスモス

公民館での初心者コースを経てコスモスの咲く頃に立ちあげてから二年が経過しました。

週一回の練習では、公民館で開催の文月コンサートやピアノ各自主グループでの発表会の為、又、季節に合わせた曲等スローペースですが楽しく和やかに弾いています。

年齢も50〜60代と若くはないですが、上手に弾けないと、「大丈夫弾けるようになるから」と、鈴木祐子先生の優しい指導の下でレッスンに励んでいます。

日頃の練習の反省会を兼ね



て区切りのよい所での食事会も楽しみの一つです。

これからも脳活と指のレッスンで曲のレパートリーを少しでも多く広げ、ピアノと仲良しになり頑張っていけたらと思っています。

胎内市ピアノ教室コスモス
大沼 光子 記



伝統文化を通じて

神林いけばな子供教室

私達「神林いけばな子供教室」では、子ども達が日本の伝統文化に触れ、感性を豊かに育てることを目標に活動しています。

今年度も市内の小学生を対象に募集を行い、今年度は男

子二名、女子十七名の十九名の生徒と一緒に毎回一生懸命がんばっています。

教室では、まず挨拶から始まり、花材の生け方、季節の花の説明等の後、たてるかたち、かたむけるかたちを生けていきます。生徒一人一人一生懸命生けている姿はほほえましく、また、作品の一つ一つが子ども達の感性が光る作品ばかりです。この活動を通じて、いけばなの楽しさを知っていただければ幸いです。



村上市神林いけばな子供教室
本間 幸子 記

今年4月より中央公民館に勤務している、いずみさんを紹介します。

中央公民館に配属前は、子育て支援課、福祉課で勤務し、採用7年目のいずみさん。社会教育1年目とは思えないほど、公民館に馴染んでいます。

現在は中央公民館と地区公民館の全ての会計事務を担い、経理のプロとしてなくてはならない存在です。

また、10月には公民館の一

十日町市中央公民館

主事 太田いずみさん



素顔拝見

直江津地区館の箕輪香織主任は、4月に異動して来られました。第一印象は可愛い(か弱い)イメージでしたが、なかなか根性があるしっかり者です。持ち前の明るさと芯の強さで、さまざまな公民館講座を担当し、地域にとけこんで頑張っています。特に、自ら企画した「ふれあいふるさと再発見」という地域の魅力発見講座では、高田寺町や、高田自衛隊駐屯地、中山間地の中の俣地区への訪問など、バラエティに富んだ地域の名所をめ

上越市立公民館直江津地区館

主任 箕輪 香織さん



ぐり、地域の方とふれあいながら、ふるさとの魅力をイキイキと再発見していました。いつも、前向きでキラキラした目で頑張っている箕輪さんに、周りの職員も元気もらっています。これからも、社会教育の現場で楽しく、また困難に立ち向かいながら、活躍されることを願っています。

(上越市立公民館 主任 小池 和美 記)

大イベントである「十日町市美術展」を取り仕切ってもらいました。例年採用二十年以上のベテラン職員がこなしてきた大仕事ですが、持ち前のネットワークの軽さで、難なく仕事をこなしました。

来年度は社会教育主事講習を受講予定の期待のエースです!

(十日町市中央公民館 大久保朋美 記)

お元気ですか



高橋 瀬織 (弥彦村)

教員退職後の15年間塾の教師をしながら530戸の区長や、社会福祉協議会の会長など、暇を弄ぶいとまが全く無かった私は、76歳の4月から唐突に教育長職を拝命し、本年3月までようやく一期だけ勤めさせて頂きました。

4月からは精神的に安住の境地を得られ、日々のゆとりも生じました。そこで中学校1年生からの友人2人が小生と同じ囲碁3段です。先日中断していた「囲碁合宿？」26回目を温泉旅館で復活させ、久々に楽しみを味わいました。

またインターネットで全国の将棋ファンとも戦っていますので、一日が瞬時に過ぎ去る感があります。健康に配慮しながら只今の生活を末永く継続できることを願ってやみません。

恵贈資料紹介

「地域・くらしと学びをつなぐ」
松本市公民館活動事例集

本書は、9月に開催された関プロ長野大会において発行・披露されました。

前編447ページにわたり、松本市が現在実践している事業等をすべて網羅した事例集です。100を超える事例が項目ごとに分けられて紹介されていて、それぞれ写真や図などが示されています。項目は、①人権・平



- 和・多文化共生 ②健康・福祉
- ③子ども・子育て・学校サポート
- ④環境 ⑤文化 ⑥地域づくり
- ⑦町内公民館 ⑧公連審・公民館委員会 ⑨その他

発行 松本市教育委員会
編集 松本市公民館長会・主事会

で松本市が取り組んでいる公民館事業が整理されて紹介されています。関プロ大会に合わせるように編集した懸命な様子がわかります。

非売品 問い合わせは県公連事務局へ
TEL・FAX
025-266-7711

information



〈高齢者叙勲受賞〉

新潟県公民館連合会の元事務局長・上村捨二郎氏が11月27日(火)付けで高齢者叙勲(88歳時に受賞) 瑞宝双光章を受賞されました。まことにおめでとうございます。ますますのご健勝を祈念申し上げます。

〈予告・関プロ新潟大会第8回実行委員会開催〉

- 1 日時 平成25年2月15日(金)10時30分~12時
- 2 会場 南魚沼市民会館 2F会議室
- 3 内容 平成24年度評議員会を兼ねて行う
- 4 旅費 今回の実行委員会から理事、評議員全員の出張旅費を事務局が負担する。

*当日の午後は関プロ第3回理事会が同会場で開催されます。

未来に残そう美しい山村

山村地域は、食料の生産、水源のかん養、国土の保全、空気の浄化、心のやすらぎの提供など様々な役割を果たし、国民の生命と生活・財産を守っています。

全国山村振興連盟新潟県支部

支部長(村上市長) 大 滝 平 正

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025 (285) 0041 FAX 025 (285) 1609

事務局長のつぶやき

11月に入り、今年もシングルベルで喜ばれていくのかと思いきや、総選挙が入り静かな年の暮れとはいかない模様になってきました。県では12月30日に

補欠選挙も予定。翌日は大晦日。候補者もさることながら選管の皆さんも大変です。本年も一年ご愛読ありがとうございました。(田原)